

令和5年度決算を議会が認定 主な事業を紹介します

令和5年度渋川市一般会計、7つの特別会計、2つの企業会計決算を3日間かけて決算特別委員会で審査を行いました。

JR 渋川駅周辺整備事業

7905万円

説明 利便性の向上と良好な駅前空間形成のため、JR 渋川駅周辺地域を整備するもの。令和5年度はタクシー乗降場シェルターを整備



電子地域通貨活用 地域経済活性化事業

9億1238万円

説明 しぶかわ電子地域通貨「渋Pay」によるポイント還元キャンペーンを実施



物価高騰対策 緊急生活支援事業

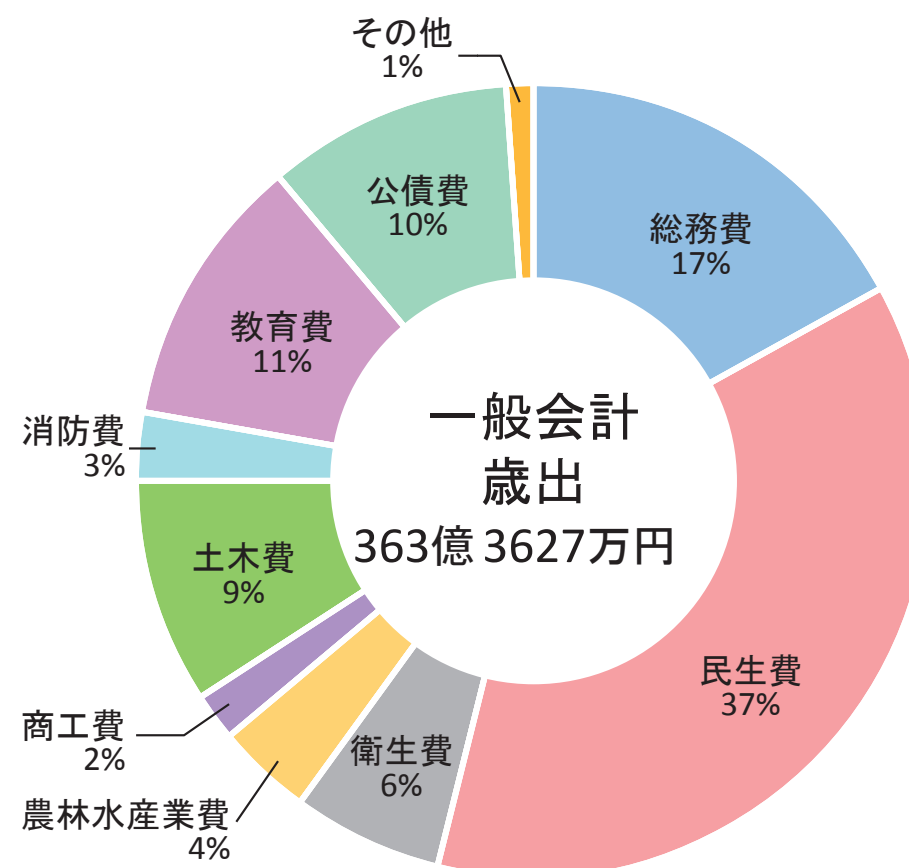
5億6160万円

説明 住民税非課税世帯への給付。また、同世帯内の18歳以下の子どもに対し加算給付

家庭児童相談事業

1124万円

説明 ・児童の養育、児童や家庭に関する問題解決のための相談、面接等の支援の実施
・ヤングケアラーの実態調査や理解促進事業



移住者住宅支援事業

4503万円

説明 新たに住宅を取得し市へ転入する世帯に助成金を交付

高齢者外出支援事業

3274万円

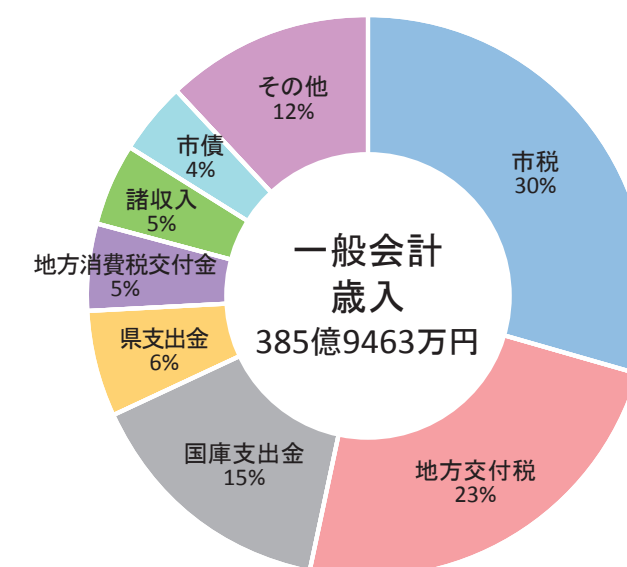
説明 75歳以上で運転免許証を有しない高齢者に日常生活の移動支援のためタクシー利用券を交付



		歳入	歳出
一般会計		385億9462万8550円	363億3626万9382円
特別会計	国民健康保険	87億9894万3460円	87億6822万1347円
	後期高齢者医療	12億4875万1603円	12億4250万5345円
	介護保険	91億9647万326円	88億6626万446円
	農産物直売事業	148万3007円	148万3007円
	伊香保温泉観光施設事業	2億2302万2322円	1億8076万8757円
	小野上温泉事業	1791万7316円	1791万7316円
	交流促進センター事業	1437万4834円	1437万4834円
企業会計	水道事業	収益的収入・支出 17億8970万1341円	17億9820万870円
		資本的収入・支出 4億6539万1358円	11億4565万1910円
	下水道事業等	収益的収入・支出 26億5082万6837円	25億1756万4927円
		資本的収入・支出 18億7018万9848円	25億2512万5474円

一般会計 363億円 + 特別会計 191億円 + 企業会計 80億円
= 634億円はどう使われたか？

決算審査の様子は6・7ページで詳しく紹介します



令和6年 9月定例会

令和5年度決算を認定、補正予算は可決

あらまし

令和6年9月定例会は、9月4日から27日までの24日間の日程で開催されました。市長専決処分の報告1件のほか、人事案件、契約の締結、令和6年度補正予算、財産の取得の追認、令和5年度決算等の市長提出議案33件、請願4件、国への意見書提出に関する議員提出議案4件が提出され、一部を除いて各常任委員会、決算特別委員会に付託、慎重に審査・審議を行いました。本会議において、いずれも原案のとおり可決・同意・採択・認定しました。本会議では、市長や議員から提出された議案などを審議します。主な議案の内容と議決結果を紹介します。

令和5年度各決算を認定

一般会計決算、特別会計決算（7件）、そのほか水道事業会計欠損金の処理及び決算、下水道事業等会計決算についてすべて認定しました。（※詳細は6ページ）

渋川駅前広場メインシエルトー新築工事の契約を締結

渋川駅前広場整備の一環としてメインシエルトーを整備するものです。全員一致で可決しました。

令和6年度一般会計補正予算（第3～5号）を可決

主な内容は次のとおりです。なお、第3号に対し議員が提出した修正案（①市



渋川駅前広場の完成予想図

民会館設備更新工事は計画的に当初予算に計上すべき、②子持社会体育館トイレ改修工事は便器の洋式化だけでなく、車いすなど誰でも使いやすくなるよう改修すべきとし、それぞれ減額するもの）は否決しました。

一般会計補正予算（第3号）

- ・ 新型コロナウイルスの高齢者への定期接種の実施と受験生世代への任意接種費用の一部助成を実施
- ・ 新市誕生20周年に合わせ、市のプロモーション動画を新たに制作
- ・ 古巻公民館整備推進のため、駐車場整備に係る設計、造作家具、公民館運営に必要な備品を整備
- ・ 市民会館大ホール舞台照明設備およびつり物装置の更新工事と、子持社会体育館のトイレ改修工事
- ・ 渋Payの前年度未利用分の確定に伴い、今後の精算に必要な加盟店精算金予算を増額

一般会計補正予算（第4号）

- ・ 8月29日の降雨により北橘町真壁地内の市道に道路陥没が発生したため、復旧工事を実施

一般会計補正予算（第5号）

- ・ 全日本小学生バンドフェスティバルに古巻小学校吹奏楽部を派遣
- ・ 9月8日の降雨により北橘町小室地内3か所の農地ののり面が崩壊したため、復旧事業を実施

財産の取得を追認

契約金額が2000万円以上の財産の取得は議会の議決を要しますが、次の4件は議決を経ずに取得して

いたことが判明したため、追認するものです。全員一致で可決しました。

- ・ 小中学校で用いる教師用指導教材、教師用教科書および教師用指導書（令和元年度、令和2年度、令和5年度の3件）
- ・ 新型コロナウイルス感染症対策で用いる3層式サージカルマスク

人権擁護委員の推薦を同意

任期満了に伴い、新井久幸氏、千明奈麻氏、前田泉氏、新井健二氏、齊藤いよる氏を後任に、唐澤裕美氏、猪熊正道氏を引き続き推薦するものです。全員一致で同意しました。

常任委員会の審査

各常任委員会では、本会議で最終的な採決を行う前に、議案の詳細な審査を行います。また、常任委員会協議会では市から各事業の報告・説明を受けます。各常任委員会での主な審査内容等をお知らせします。

総務市民

審査結果 付託された1議案は全会一致で可決、請願1件は多数決で採択しました。

マイナバーの利用等に関する条例の一部を改正

生活保護法および児童手当法の一部改正に伴い、所要の改正をするものです。全会一致で可決しました。

総務市民常任委員会協議会

市から(仮称)渋川市デジタル田園都市構想総合戦略(第3期渋川市総合戦略)の素案、第3次渋川市男女共同参画計画の策定方針について報告、説明がありました。

経済建設

審査結果 付託された3議案はすべて全会一致で可決しました。

渋川駅前広場メインシエルトー新築工事の契約を締結

質疑 工事現場周辺への点字ブロックの設置等、視覚障がい者への安全対策は。

質疑 工事中は誘導員を複数人配置し、安全に通行できるように努めます。

質疑 工事時間以外の早朝や夜間の安全対策は。

質疑 工事時間以外も安全に通行できるように安全対策を考えていきます。

質疑 過去に計画段階で金額が議会に示されていたが、そこからさらに物価が上昇

している。今回の金額は物価上昇を見込んでいるのか。
答弁 物価上昇を見込んでいます。また、計画段階では詳細な金額がつかめませんでした。関連工事が進み、実勢価格が積算可能となりました。物価上昇を見込んで、計画段階時の金額より減額となります。

経済建設常任委員会協議会

市からSUNおのがみ等の譲渡の経過及び再公募、JR八木原駅西側駅前広場整備、下水道使用料の改定方針について、報告・説明がありました。

教育福祉

審査結果 付託された5議案および請願3件はすべて全会一致で可決、採択しました。

財産の取得を追認

本来議決を経なければならなかった教科書購入について追認するものです。
質疑 購入に係る起案が市

長決裁となるまでの流れは。
答弁 課長、教育部長、教育長、総務部長、副市長、市長の順に決裁します。

質疑 契約書上での見落としはあったのか。

答弁 契約書上にチェック項目等はなく、契約額2000万円以上の教科書購入が要議決案件に該当すると認識が欠落していました。

質疑 今後の対応は。

答弁 職員へ周知徹底し、チェック体制を構築します。

予算

(令和6年度補正予算)

審査結果 付託された5議案のうち一般会計補正予算(第3号)は多数決で可決、ほか4議案は全会一致で可決しました。

一般会計補正予算(第3号) 市民会館の設備更新工事

大ホール舞台照明およびつり物装置の更新工事です。

質疑 工事費4億8000万円の大規模工事を、なぜ計画的に当初予算に計上しなかったのか。

答弁 更新時期を見極めていましたが、今年度の点検結果を受け、更新の判断に至りました。合併特例債を使用することから、期限である令和7年度に工事を完了させるため、今回補正予算を計上しました。



更新される舞台照明

子持社会体育館トイレ改修
便器の洋式化工事です。

質疑 便器の洋式化だけでなく、障がいがある方や車いす利用者、赤ちゃん連れの方など、誰でも利用しやすいよう改修すべき。

答弁 既存施設に広さがなく、オストメイト等の設置や、車いすが転回するスペースの確保はできません。

令和5年度決算の審査

令和5年度浜川市一般会計決算、国民健康保険特別会計決算は多数決で、そのほかの決算は全会一致で原案のとおり認定しました。
決算特別委員会での主な質疑の内容は次のとおりです。

令和5年度一般会計

一般コミュニティ助成事業

質疑 北橋地区の一般コミュニティ助成事業が未執行になった理由は。

答弁 自治総合センターに補助決定されたが、市が助成対象自治会への連絡を怠り、期限内に事業執行ができなくなったためです。

市長会見に関する調査第三者委員会

質疑 市の保有する個人情報漏えいに関する調査のため、市長が設置した第三者委員会の開催回数と、調査報告書の提出時期は。

答弁 令和5年度は5回開催しました。報告書の提出

期限は、委員会において未決定です。（9月20日時点）

地域の魅力総合発信事業

質疑 広告等の実施内容は。

答弁 上毛新聞のぐんま愛への記事の掲載、J R東日本の新幹線車内誌への広告掲載、新宿アルタビジョンへの市P R動画の放映です。

浜川市P R動画情報発信事業

質疑 P R動画作成本数とその成果は。

答弁 外部委託により10分のP R動画を1本、1分の動画を2本作成し、再正回数は10分の動画が9300回、1分の動画が24万9000回です。また、自作動画47本を作成しました。

放課後児童クラブ物価高騰対策支援事業

質疑 予算額84万7000円に対し、不用額が74万7000円発生した。事業周知はどのように行ったのか。

答弁 児童1人当たり1000円の補助を市から直接放課後児童クラブに周知しました。しかしながら、申請された放課後児童クラブは、3クラブでした。

木とふれあう木育推進事業

質疑 事業内容と成果は。

答弁 子育て環境に木を取り入れる「木育」を推進するため、新生児を対象に、県

産木材を利用した積み木セットを出産祝品として349セット贈呈しました。費用は、1セット当たり税抜き5900円です。

証明書コンビニ交付事業

質疑 本市の証明書コンビニ交付手数料は300円だが、他市町村では100円で交付している自治体がある。減額する考えは。

答弁 自治体の中には、マイナンバーカード普及活動の一環として減額している自治体があります。今後、事業実施に伴い事業者に支払う手数料等を検討し検討します。

医療的ケア児支援事業

質疑 予算額の半分以上の不用額が発生した。人材の確保は十分であったのか。

答弁 令和5年4月から第五保育所に専任の看護師2名および保育士1名を配置し、医療的ケア児の受け入れを開始する予定でしたが、看護師の採用が6月と遅れ、2名予定の看護師が1名し



第五保育所

か採用できず、不用額が発生してしまいました。

家庭児童相談事業

質疑 児童の適切な養育の推進および児童やその家族に関する問題の解決のための相談件数は。また、ヤングケアラーの実態把握のために中学生を対象に実施したアンケートの内容は。

答弁 相談件数は493件です。

アンケートは、各中学校で毎月行っているアンケートの中に、生活に困りごとがないかなどの項目を加えて実施しています。
また、小学校低学年の児



出産祝品の積み木セット

童がヤングケアラーとなっていた事例があったことから、従来の中学生に加え、小学生を対象とするアンケートの準備を進めています。

農業担い手物価高騰対策支援事業

質疑 認定農業者への支援内容は。また、認定農業者以外の農業者への支援は。

答弁 物価高騰の影響を受けている認定農業者の経営安定を図り、市内農業の活性化を図るため、認定農業者1人当たり20万円を66人に交付しました。

また、認定農業者以外の農業者への支援は、市単独による支援を検討します。

有害鳥獣対策事業

質疑 有害鳥獣の被害は、農産物だけでなく、市民生活の安全にまで及んでいる。捕獲奨励のためにも奨励金を増額すべきでは。

答弁 有害鳥獣捕獲奨励金を昨年度増額しました。有害鳥獣捕獲体制等の整備、捕獲隊への支援を含めて、

捕獲奨励金の増額についてさらに検討します。

伊香保ハワイアンフェスティバル実施事業

質疑 総事業費と補助金1000万円の使途は。

答弁 総事業費は3589万円です。補助金以外の主な収入は、フェスティバル参加料です。補助金の使途は、ハワイから招待した関係者の旅費、宿泊費とフェスティバル会場設営費です。

地域ぐるみ学校安全体制整備推進事業

質疑 執行率が低い理由と、スクールガードリーダーの安全指導の活動実績は。

答弁 スクールガードリーダーが1人のため、学校からの希望の重複に対応できていません。また、安全指導は下校時47回、校外学習等15回、合計62回です。

スクールアドバイザー事業

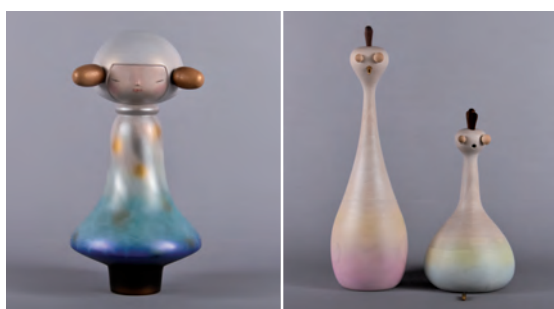
質疑 雇用したスクールアドバイザーの経歴・資格と事業実績は。

答弁 校長退職後、スクールカウンセラー、スクールスーパーバイザーを歴任し、臨床心理士の資格を保有する方です。市内小中学校の求めに応じ、43回派遣し、相談時間は48時間でした。

地場産業後継者育成支援事業

質疑 事業内容と成果は。

答弁 地域おこし協力隊1人を委嘱し、創作こけし産業の後継者を育成するとともに、創作こけしのPRを推進しました。現在、地域おこし協力隊OB2人が起業しています。



OB が作製した創作こけし

討論

「令和5年度一般会計歳入歳出決算について」

賛成

学校給食費・保育料無料化等は継続的に実施された。子どもの医療費無料化の18歳まで拡充も評価する。

住宅エコリフォーム支援事業は922万円の補助で3億5900万円の経済波及効果があった。市民はエコに限らず普通のリフォームにも使える制度を望んでいる。

新型コロナウイルス感染症は昨年5月に国の方針により分類が5類相当になったが、感染状況を注視していく必要がある。これからも市民の安心安全な生活が図られるよう要望する。

反対

おおむねの事業は評価できるが、制度設計や事業計画が甘く今回も予算の執行率の低さが目立つ。経常収支比率は95・3%と若干改善したもの、財政構造の硬直化が進み、さらなる改善努力が必要。実質収支比率も9・2%に上昇した。不用額が多かったが積立金(財政調整基金)は約9%、約6億円減少してしまった。また、自治会への助成事業において権利を放棄する事態が発生し、市民の利益を逸してしまった。高木市長の予算より決算という「決算主義」がこのような結果を招いた。